

# 荒川区の新型コロナ対策は不十分です… 暮らしと事業支援に思い切った財政出動を

		歳入決算	歳出決算	決算剰余金 (黒字分)
一般	2020年度	1248億4786万円	1225億 993万円	22億5141万円
会計	2019年度	1011億9916万円	983億3002万円	24億8830万円

	財政調整基金	その他の基金	基金合計
2020年度	207億 547万円	省略	432億4902万円
2019年度	181億2555万円	省略	407億6792万円
2018年度	177億6029万円	省略	382億2561万円

## 2020年度 荒川区新型コロナウイルス感染症対策事業一覧(単位:千円)

	事業総額	財源の内訳			
		国	都	その他	区
(1)医療環境及びワクチン接種体制等の整備 (医療従事者への手当、施設整備補助、病床確保協力金、ワクチン接種経費など)	1,174,805	82,813	968,708	1,493	131,791
(2)特別定額給付金支給等の区民への生活支援 (特別定額給付金、子育て世帯・ひとり親世帯給付金事業など)	22,909,213	22,467,946	374,817	0	66,450
(3)事業者・地域団体等への支援 (コロナ対策特別融資、感染防止施設整備補助、プレミアム付きお買い物券発行支援、芸術文化・スポーツ支援など)	425,411	0	7,399	498	417,514
(4)コロナ禍における教育活動の確保・環境の整備 (感染症対策物資、パソコン・オンライン整備など)	213,014	20,608	40,968	3,016	148,422
(5)子育て施設等における感染防止対策及び子育て環境の整備 (保育園・学童クラブなどの感染対策物資購入助成、私立保育園・私立幼稚園職員ヘクオカード支給など)	111,807	35,871	41,582	995	33,359
(6)新たな生活様式への対応 (省エネエアコン購入助成、高齢者見守り対策など)	21,215	0	0	1,000	20,215
(7)庁舎・区民施設等における感染防止対策	17,359	2,696	0	0	14,663
(8)感染症対策物資の充実	61,428	0	0	995	60,433
合計	24,934,252	22,599,934	1,433,474	7,997	892,847

コロナ対策249億円のうち区支出は3%台・9億円弱…！  
基金の取り崩しもなく捻出…くらし応援の財源はあります

2020年度決算は、最大の課題である新型コロナウイルス感染症拡大への対応が極めて不十分です。

決算は、実質収支・黒字が22億円余、基金総額が過去最高の430億円、うち財政調整基金200億円超となつていきます。この年度の新型コロナウィルス感染症対策事業は、医療従事者・医療機関への支援を始め66事業決算総額249億425万2千円と報告されていきます。大部分は、

	剰余金 (千円)	財政調整 基金取り
2020年	2,251,415	0
2019年	2,488,301	0
2018年	2,799,353	0

特別定額給付金の約220億円など国、都の補助金や交付金が財源です。区の独自財源は9億円弱です。しかもこの9億円弱は、区の貯金である基金でなく、当初予算内での財政運営上のやりくりで捻出したものです。

日本共産党区議団は、コロナ感染に対応するため、予算組み換え動議を提案。

内容は、感染対策として医療機関への支援、事業継続補助、コロナ融資の金利ゼロ、保健所体制の抜本強化、広地域親家賃助成、就学援助対象拡大など歳出ペースで総額12億円規模の財政出動を求めました。対応する財源は十分あります。引き続き、区民の暮らしと営業、命と健康が深刻な危機に直面しているいまこそ、区の思い切った財政出動が求められます。

## 区立保育園なども廃止・CO2排出も無視…？ 巨額の税金投入…大規模再開発は見直しを

西日暮里駅前と三河島駅北地区の大規模再開発は、巨額の税金投入だけでなく、区立の保育園、デイサービスセンターを廃止、小中学校の教室の逼迫など伴うもので現計画を到底容認できません。

また、両地区合わせて、年間1万トンの二酸化炭素排出が予測されます。しかし区の脱炭素、2050年温室効果ガス排出ゼロに向けた削減計画には、この数字は入っていない。ゼロ・エミッションと言いますが、大規模再開発だけは事実上聖域なのでしょつか。こうした大規模再開発推進する区の方針は、区民の暮らしに賛成できません。区の根本姿勢が問われます。

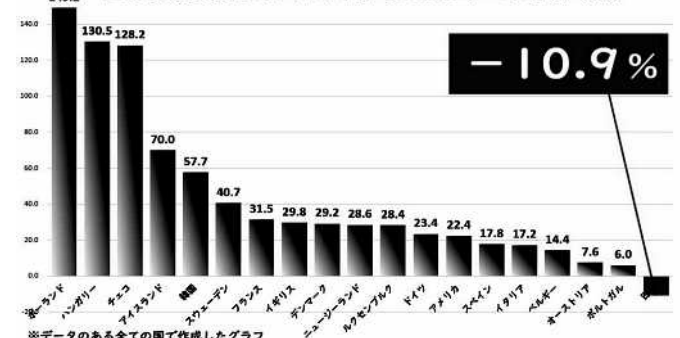


## 今週のデータ OECDで日本だけ実質賃金-10.9% 「アベノミクス」からの転換が必要です

OECDで日本だけ賃下げ！この23年間の実質賃金はマイナス10.9%の大幅賃下げです。岸田新総理は、実質賃金マイナスを加速したアベノミクスを引き継ぐ明言。暮らしを守るためにも経済政策の転換で最低賃金1500円全国一律最低賃金にすることが緊急課題となっています。

### 日本だけ10.9%も賃下げ(実質賃金)

[出所] OECD.Statの賃金(時給)と消費者物価指数による実質賃金の1997年から2020年への増減(%)



日本共産党荒川区議会議員  
**横山 幸次** 区政報告  
ニュース

2021年 10月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団  
区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp  
町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504  
E-mail: kouji.office@gmail.com



# 決算 審査

# コロナ対策、くらし応援、ケアに優しく… 区民の声を届け区政を動かします 共産党



この負担増をどうするのか？  
シルバー人材センターが肩代わり 会員配分金から消費税分を差し引く  
会員さん一人一人が課税事業者登録をして、



は区の委託契約金基準を見直し、会員配分金(報酬)が減少しないようにすることを求めました。

この負担増をどうするのか？  
シルバー人材センターが肩代わり 会員配分金から消費税分を差し引く  
会員さん一人一人が課税事業者登録をして、

は区の委託契約金基準を見直し、会員配分金(報酬)が減少しないようにすることを求めました。

国は2023年から導入する消費税のインボイス制度で、シルバー人材センターが会員さんに支払っている配分金には本来消費税が含まれているから、消費税相当額を新たなコストとして負担し、納税してもらうとしています。  
万一、強行された場合は区の委託契約金基準を見直し、会員配分金(報酬)が減少しないようにすることを求めました。

## 消費税インボイス制度の実施で シルバー人材センターの配分金が引き下げ？

国は2023年から導入する消費税のインボイス制度で、シルバー人材センターが会員さんに支払っている配分金には本来消費税が含まれているから、消費税相当額を新たなコストとして負担し、納税してもらうとしています。

万一、強行された場合は区の委託契約金基準を見直し、会員配分金(報酬)が減少しないようにすることを求めました。

シルバー人材センターには荒川区が放置自転車対策や学童見守りなどの仕事を委託しています。

会員さんの配分金(報酬)は年間6億2千万円になります。シルバー人材センターが消費税を支払うとすれば、6千万円も新たに負担しなければなりません。

荒川区シルバー人材センターの年就業実人員は1,300人で、1人あたりの年間配分金は約47万円。消費税10%を取られる5万円も年間の収入が減ってしまいます。

シルバーの会員は業務を委託される個人事業主となっています。現在は免税業者扱い。インボイス制度の導入で課税業者として税務署に登録しなければなりません。全員が課税業者になることは困難です。

児童の感染	
9月19日	1
9月21日	3
9月22日	3
検査実施の判断	
9月24日	2
9月27日	1
合計	10

陽性者が一人でも出れば、保健所が濃厚接触者やその周辺の検査対象者を特定する前でも、すぐに現場の判断でPCR検査を実施すべきではないでしょうか。

### 学校や福祉施設など 感染者が一人でも出たら検査を

九峡小の児童で、9月19日から22日に7名の感染者が確認されました。その時点で、学校・教育委員会・保健所で協議し、全校児童・教職員を対象に希望者全員の検査を行うことを決断しています。

23日(休)保護者に連絡し検査キットを取りに来てもらい、24日検査、25日結果報告となりました。

※文科省2021年8月27日付事務連絡…「学校において濃厚接触者等の速やかな特定が困難な場合は、判明した感染者が1人でも、感染状況によっては、原則として当該感染者が属する学級等の全ての者を検査対象の候補とすることが考えられる」

## お知らせ コロナワクチンの予約なし接種開始と時間延長

対象者：まだ1度も接種をしていない区民、区内在勤・在学の方及びその家族

接種当日の持ち物・接種券・本人確認ができる書類(保険証や運転免許証など)

接種会場：生涯学習センター(荒川3-49-1)

使用ワクチン：武田/モデルナ社製ワクチン

接種開始日：10月5日(火)

接種時間の延長：10月15日(金)及び10月16日(土)21時まで(最終受付20時30分)

接種率(10.4現在)	1回目	2回目
65歳以上の方	90.5	89.2
60~64歳の方	86.8	83.3
50~59歳の方	84.5	79.2
40~49歳の方	77.3	70.4
30~39歳の方	72.5	62.9
20~29歳の方	66.4	54.4
12~19歳の方	65.7	46.1



「まちな話」あれこれ(番外編)  
いま尾竹橋が変わった囲いが施されています。いつも見慣れた橋ですが、ちょっと別次元の景色になっています。掲示を見るには自然体の塗装工事のようで、今年12月中旬までの工事期間のようです。



定期的な補修は、施設の長寿命化と安全確保にとつて  
きちんとしてほしいと思います。見られるのは今のうちです。  
(横山幸次)

## 今年12月までが変わった景色に： 尾竹橋が塗装工事中

くらし、子育て、介護、雇用…まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

定例法律相談  
毎月第1月曜・午後6時~8時  
横山幸次区議事務所  
次回は11月1日(月)です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター  
(横山幸次区議事務所)  
荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504  
メール: kouji.office@gmail.com

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています...いつでもご相談を  
「定例法律相談」は月一回開催。くらし、子育て、医療、介護、雇用、税金など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。